

## 授業づくりのQ&A ー小学校社会科ー

Q1: 児童が社会的事象の見方・考え方を働かせる授業づくりを行うためには、どのようなことに気を付けて問いを設けることが大切ですか？



A: 毎時間の学習においては、以下のような視点を基にした言葉を用いて問いを設けるようにすることが大切です。そうすることで、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせて深い学びの充実を図ることができます。

～児童が社会的事象の見方・考え方を働かせるための問い(例)～

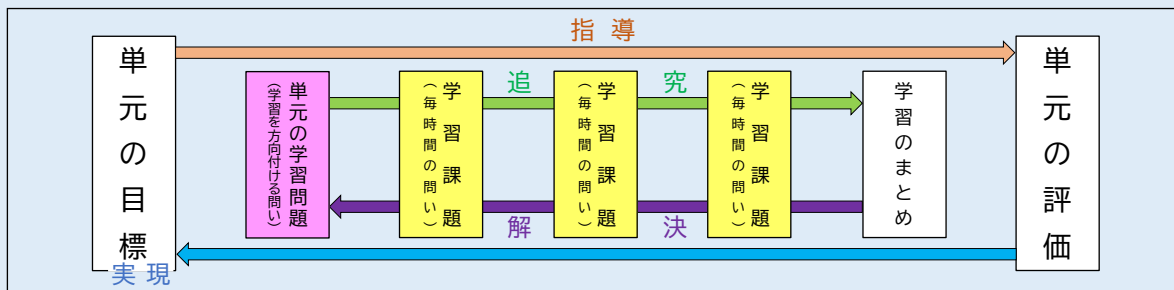
位置や空間的な広がり	時期や時間の経過	事象や人々の相互関係
<ul style="list-style-type: none"> <li>どこで広がったのか</li> <li>どのように広がっているのか</li> <li>なぜこの場所に広がっているのか</li> <li>さらに広げるべきだろうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何が変わったのか</li> <li>どのように変わってきたのか</li> <li>なぜ変わっているのか</li> <li>どのように変わっていくべきだろうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>だれが生産しているのか</li> <li>どのような工夫があるのか</li> <li>なぜ協力することが必要なのか</li> <li>協力する上でAとBのどちらが必要か</li> </ul>

※「社会的事象の見方・考え方を働かせる」…位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係など(視点)に着目して、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること(方法)を用いて、社会的事象について調べ、考えたり、選択・判断したりする学び方のこと。

Q2: 「学習問題」と「学習課題」はどのように違うのでしょうか？



A: 「学習問題」とは、単元全体の学習を通して解決していく、単元の学習を方向付ける問いのことです。学習問題の追究・解決する活動を通して単元の目標の実現を目指します。「学習課題」とは、毎時間の問いのことです。学習課題の解決を積み重ねることで、学習問題の解決につながります。



【図 学習問題と学習課題の関係性】

Q3: 「振り返り」をする際に大切なことは何ですか？



A: 「振り返り」をする際には、児童が自分の学習の過程や結果を振り返ることができるようにすることが大切です。そのため、「振り返り」の時間には、教師が以下の例のような視点を示し、児童が自分の学習を確認したり、次時の学習につなげたりすることができるようにします。

～振り返りの視点(例)～

- ・最初の考えと変わったことや深まったこと。学習中に工夫したり努力したりしたこと。
- ・友達の考えを参考にしたり、取り入れたりしたこと。
- ・新たな気づきや疑問、もっと調べたいと思ったこと。
- ・学習をこれからの生活にどのように生かしていくか考えたこと。